

日銀旭川事務所長のみた  
**旭川シーン**  
**SCENE**

**旭川市における相対物価**

道「被服及び履物」で最高です。こうなると旭川市はどうか、気になりませんが、旭川市はこの調査対象に入っていません。

そこで、不正確なところを残しますが、今回敢えて旭川市が調査対象に入っている同調査の動向編から当事務所で集計してみました。

動向編は品目を六区分してはいますが、今回はそのうちのA主として消費者が居住地区周辺で購入する品目（「食料、家事用消耗品など」）、B主として消費者が各市町村の代表的な商業集積地、大型店舗等で購入する品目（「被服、家電製品など」）について、旭川市のデ

新年が始まり、私も市内の初売りに参りましたが、そこで商品の値段が気になりました。  
総務省の小売物価統計調査構造編「二〇一七年」で地域別の物価が分かりますが、全国平均を一〇〇とおくと、一〇〇を唯一上回っているのは関東（一〇一・八）、最も低い地域は九州（九七・三）で北海道はほぼ平均並み（九九・八）です。  
費目別にみると北海道は「住居」「教育」で地方十区分中最低、「光熱・水

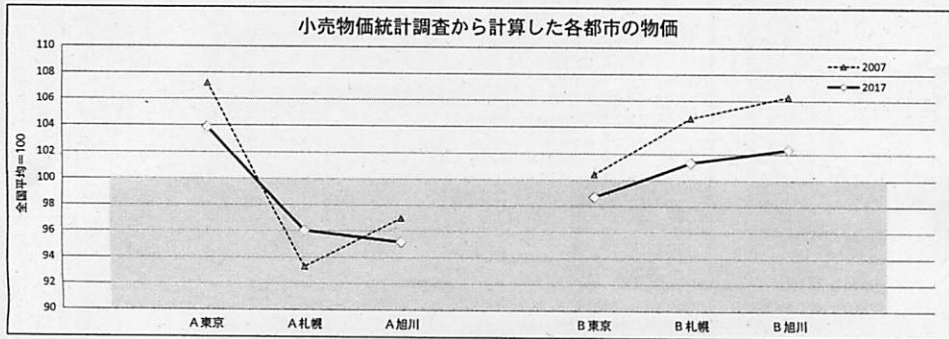
一タがとれる基本銘柄を抜粋し、消費者物価指数の算出に用いる全国ウェイトを銘柄ごとに乗じて計算しました。ちなみに、A、Bの二区分を併せると全調査対象品目の三割程度を占めます。一方、B群では、旭川は両年とも全国平均より高くなっています。札幌市、旭川市につき、最新の二〇一七年（年間デ

結果をみると、A群の旭川市の水準は、あれにもこれにも手が届く、すこいぞお前と、アイツがささやく



は両年とも全国平均より低くなっています。全国平均より割高な東京からの価格差も大きく、この商品群については、旭川は「お買い得なま」と言えそうです。

一方、B群では、旭川は両年とも全国平均より高くなっています。札幌市、旭川市につき、最新の二〇一七年（年間デ



資料出所：総務省「小売物価統計調査（動向編）」

ぐっと縮まっています。全国的にもインターネットを通じた通販との競合や価格比較の容易化、また流通分野の効率化などが進んでいると思われませんが、こうした価格変化は旭川市の消費者に相対的に大きな恩恵をもたらしたとも言えるようです。

高級服も比較的に買いやすくなり、それを着こなす方も増えたのでしょつか、「The Devil I Wears Prada」（二〇〇六年の映画。邦題は「プラダを着た悪魔」）には、高級服を着こなす仕事に厳しい上司が出てきます。旭川市で、きれいな装いをした

紳士、淑女の増えることは歓迎ですが、鬼上司が増殖するのは堪りませんね。（毎月第四週に掲載します）

【中本浩信（なかもと・ひろのぶ） 一九六三年東京都生まれ。東京大学法学部卒。支店は鹿児島、神戸に勤務。二〇一八年八月から旭川事務所長。趣味は絵画鑑賞。